



園だより

こども未来局
保育・子育て推進部

令和7年7月1日
蟹ヶ谷保育園

今年の梅雨は雨より暑さが先行してしまい体を慣らすことが大変ですね。そんな中でも子ども達は太鼓をたたいたり盆踊りを踊ったりするなど、夏まつりの余韻を楽しみながら、本格的に始まった水遊びやプールで開放的に遊んでいます。休息をしっかりとって暑い夏を乗り切りましょう。



7日(月)七夕
9日(水)園医健診
(0・1歳)

毎月、身体測定・避難訓練を行います。
15日は伝言ダイヤル練習日です。



20日(水)プール閉まり(3歳児クラス)
21日(木)プール閉まり(4歳児クラス)
22日(金)プール閉まり(5歳児クラス)



高津看護学校の実習生が
6月30日～7月2日の
3日間実習に来ています

生きる力にあふれる子ども

事務室からこんにちは～園長コラム～「めくるめく子ども達の世界」

先日、1歳児クラスの保育室にお邪魔していた時のことです。突然、一人の男の子が私めがけて泣きながら倒れ込んできました。それはもう、この世の終わりのような悲しそうな表情で…私が「どうしたの？」と声をかけても、もちろん答えることはできません。ただ、とてもとても悲しいことがあったことはわかります。どうやら、欲しかったバスのおもちゃを、貸してもらえなかったようです(悲)「それは悲しかったね…そういう時もあるさ」と慰めつつ、他に興味のあるものは…と色々な乗り物シリーズを差し出すと、バスより大きなスポーツカーがお気に召したようで、涙も止まり私のお膝の上で遊びだしてくれました。

しばらくすると、今までバスを持って遊んでいた一つ上のお子さんが自分の保育室に戻る時に、さっきまで泣いていた男の子に手渡してくれたのです!!なんと感動的なシーン(涙)と見守っていると、さっきまであんなに欲しがっていたバスを、他のお友達にそっと譲ってあげているではありませんか!?

その子はきっと、悲しかった気持ちを受け止めてもらい、もっといい物?に出会うことができ、気持ちを切り替えることができたのだですね。そして、その時譲って上げられなかった子も、ちゃんとその悲しんでいる姿を横目で見ながら「ちょっと悪いことしちゃったかな…」と思っていたかもしれませんね。保育方針の中に「人とかかわりや集団生活の中で社会性を育て、自分で考えて行動できる力を育む保育」という文言がありますが、まさに、この保育を実感した場面でした。

こういった場面は、保育園ではそれはもう日常茶飯事のように行われています。その際には子どもの気持ちを受け止め、一緒に考えて、子ども達が自分で歩き出せるようにと働きかけることを大切にしています。どんなに小さいお子さんでも、自分という存在や一緒に生活している仲間を理解し、時には泣いて、時には笑って、友達や保育者と一緒に楽しさや喜びを共感し「喜びは2倍に 悲しみは半分に」というかかわりを実感しながら、人とかかわる温かさを感じ、成長していきます。保育園という小さな社会の中で、一人一人が主人公となり育っていく過程を見守り、働きかけていきたいと思ひます。

ご家庭では、保育園という社会で、子ども達の世界の中で育っていく姿を応援し、ぎゅっと抱きしめてあげてください!そして、元気に登園してくる子ども達を職員一同、いつも待っています♪